

ESARGEE-TAKAMIYA株式会社

平成26年3月期 決算説明資料

－ 2014.05.21 －



SRG Takamiya
SUPER RENTAL GROUP

トピックス

● 平成25年8月 自己株式処分

本資金調達は、多様化した顧客ニーズに応え、当社が保有する仮設機材の充実や入替えのための賃貸資産（仮設機材）の購入資金に充当するものであり、今後の当社グループのさらなる成長を加速させるものとなっております。また、自己株式の処分及び当社株式の売出しを実施することにより、株式の分布状況の改善及び流動性の向上に資するものと考えております。

公募による自己株式の処分（一般募集）	当社普通株式	800,000株
--------------------	--------	----------

● 平成25年8月 ホリーベトナム設立

当社の連結子会社であるホリー株式会社は、建設用仮設機材関連製品の製造を行っておりますが、更なる生産効率の改善を推し進めるため、新たな製造拠点として、ベトナム社会主義共和国ドンナイ省にホリー株式会社100%出資の現地法人を設立し、日本国内向けその他、A S E A N諸国などに対し、建設用仮設機材の安定供給を図ってまいります。

名称	HORY VIETNAM CO.,LTD
所在地	ベトナム社会主義共和国 ドンナイ省 ロンドウック工業団地内
事業内容	足場用緊結金具等の建設用仮設機材製品の製造（鍍金含む）
資本金	300万US\$

● 平成26年3月 アサヒ工業株式会社の株式取得（子会社化）

アサヒ工業は、ステンレス型枠材を中心に、コンクリート型枠の販売及びレンタル専門事業者として、高い技術開発力や当社にはない海洋土木・港湾分野への施工実績を有しており、防潮堤建設工事など東北地域の復興工事にも尽力しております。この度の子会社化により、当社グループが全国に展開する営業力と同社の持つ海洋土木・港湾分野へのノウハウとのシナジーを発揮することが可能となり、当社グループの企業価値向上が図れるものと考えております。

● 平成26年5月 グループ海外事業準備室設立

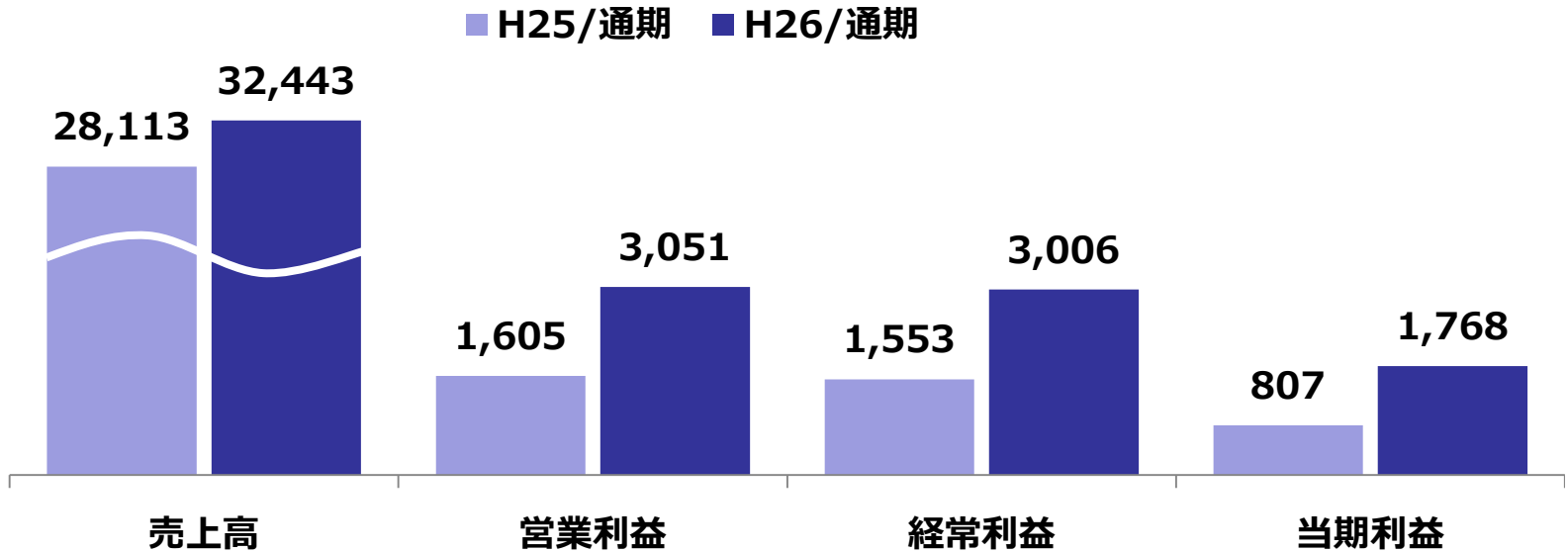
連結業績（累計期間）

連結業績 (単位：百万円)	H26/通期 通期予想		H26/通期 実績		前期実績 (H25/通期)		前年 増減率
		売上高比		売上高比		売上高比	
売上高	31,300	-	32,443	-	28,113	-	+15.4%
売上総利益	-	-	9,832	30.3%	8,196	29.2%	+20.0%
販管費	-	-	6,781	20.9%	6,590	23.4%	+2.9%
営業利益	2,630	6.1%	3,051	9.4%	1,605	5.7%	+90.1%
経常利益	2,600	5.1%	3,006	9.3%	1,553	5.5%	+93.5%
当期純利益	1,550	2.7%	1,768	5.5%	807	2.9%	+119.1%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	70.41円 (-円)	-	80.33円 (77.61円)	-	37.66円 (36.84円)	-	-
一株当たり配当金	13.00円	-	13.00円	-	20.00円	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)	-	-	3,369	10.4%	3,280	11.7%	+2.7%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	-	-	6,421	19.8%	4,886	17.4%	+31.4%

注) 「一株当たり純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純利益（及び潜在株式調整後一株利益）を算定しております。
「EBITDA」は、簡便的に“営業利益 + 減価償却費”にて算出しております。／「売上総利益」、「販管費」の予想は非公表です。

PL分析

単位：百万円



対前年増減	+15.4%	+90.1%	+93.5%	+119.1%
要因 上段：販売 下段：レンタル	・クランプ、くさび式住宅用足場等の主力商品の販売堅調 ・太陽光発電関連好調	・太陽光パネル設置架台等高収益機材の販売増。一方、太陽光発電所向け機器販売は低粗利	・売上高増加及び売上総利益率の改善に伴う営業利益の増加 ・持分法による投資利益（太陽光発電所） ・スクラップ売却益の増加 ・株式発行費用の増加	・経常利益の大幅増加 ・減損損失36百万円の計上（本社移転決議のため） ・土地建物の売却（41百万円）
	・建築関連及び維持補修関連工事が寄与。土木関連立ち遅れ。	・レンタル単価改善及び原価低減により売上総利益率改善。販管費の減少。		

セグメント別実績 四半期推移（累計期間）

(単位：百万円)		平成25年3月期				平成26年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売	セグメント売上高	2,661	5,750	9,231	13,475	3,713	7,630	12,546	17,178
関連事業	内、内部売上	314	587	791	1,047	465	837	1,283	1,794
	セグメント利益	189	587	1,099	1,576	524	1,040	1,491	2,045
	セグメント利益率	7.1%	10.2%	11.9%	11.7%	14.1%	13.6%	11.9%	11.9%
(対前年増減率)	セグメント売上高	34.6%	25.0%	32.4%	44.9%	39.6%	32.7%	35.9%	27.5%
	セグメント利益	66.4%	42.4%	73.9%	91.3%	176.9%	77.2%	35.6%	29.7%
レンタル	セグメント売上高	3,734	7,858	12,099	16,114	3,697	7,955	12,705	17,375
関連事業	内、内部売上	59	208	282	428	69	142	241	315
	セグメント利益	81	409	718	997	124	611	1,369	2,019
	セグメント利益率	2.2%	5.2%	5.9%	6.2%	3.4%	7.7%	10.8%	11.6%
(対前年増減率)	セグメント売上高	17.0%	13.2%	8.9%	6.5%	△1.0%	1.2%	5.0%	7.8%
	セグメント利益	△10.6%	3.8%	△16.1%	△14.9%	52.9%	49.4%	90.5%	102.4%
	売上高合計	6,396	13,608	21,330	29,589	7,411	15,585	25,252	34,553
	内、内部売上	374	796	1,073	1,476	534	980	1,525	2,110

セグメント別実績 四半期推移 (会計期間)

(単位：百万円)		平成25年3月期				平成26年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売	セグメント売上高	2,661	3,089	3,480	4,243	3,713	3,916	4,916	4,631
関連事業	内、内部売上	314	273	203	256	465	372	445	510
	セグメント利益	189	397	512	476	524	515	451	553
	セグメント利益率	7.1%	10.2%	11.9%	11.7%	14.1%	13.6%	11.9%	11.9%
(対前年増減率)	セグメント売上高	34.6%	25.0%	32.4%	44.9%	39.6%	32.7%	35.9%	27.5%
	セグメント利益	66.4%	42.4%	73.9%	91.3%	176.9%	77.2%	35.6%	29.7%
レンタル	セグメント売上高	3,734	4,123	4,241	4,015	3,697	4,258	4,749	4,669
関連事業	内、内部売上	59	148	73	146	69	73	98	74
	セグメント利益	81	328	308	279	124	487	757	650
	セグメント利益率	2.2%	5.2%	5.9%	6.2%	3.4%	7.7%	10.8%	11.6%
(対前年増減率)	セグメント売上高	17.0%	13.2%	8.9%	6.5%	△1.0%	1.2%	5.0%	7.8%
	セグメント利益	△10.6%	3.8%	-16.1%	-14.9%	52.9%	49.4%	90.5%	102.4%
	売上高合計	6,396	7,212	7,721	8,259	7,411	8,174	9,666	9,300
	内、内部売上	374	421	277	403	534	445	544	584

連結貸借対照表

(百万円)		
(資産の部)	H25/3	H26/3
流動資産	13,725	15,892
固定資産	20,262	21,353
資産合計	33,987	37,245
(負債の部)		
流動負債	14,117	15,356
固定負債	12,760	12,130
負債合計	26,877	27,486
(純資産の部)		
株主資本	6,756	8,869
その他包括利益累計額合計	190	645
純資産合計	7,110	9,758
負債及び純資産合計	33,987	37,245

【資産の部】

流動資産

現金及び預金／増加：899百万円

受取手形及び売掛金／増加：333百万円

商品及び製品／増加：133百万円

仕掛品／増加：420百万円

固定資産

賃貸資産（純額）／増加：946百万円

投資その他の資産

投資有価証券／増加：500百万円

その他／増加：876百万円（合同会社貸付611百万円）

【負債の部】

流動負債／増加：1,239百万円（支手、買掛、短借の増加）

固定負債／減少：629百万円（長借、社債の減少）

【純資産の部】

資本剰余金／増加：447百万円

H25/7 自己株処分差益により資本剰余金が増加

利益剰余金／増加：1,422百万円

その他有価証券評価差額金／増加：368百万円

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)		
	H25/5期	H26/3期
税金等調整前当期純利益	1,489	3,003
営業キャッシュフロー小計	1,575	2,839
投資キャッシュフロー小計	△812	△1,239
財務キャッシュフロー小計	△779	△715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△23	902
現金及び現金同等物の期首残高	3,100	3,076
現金及び現金同等物の期末残高	3,076	3,979

【営業キャッシュフロー】

税金等調整前当期純利益の増加：1,514百万円

減価償却費の増加：89百万円

賃貸資産の取得による支出の減少：562百万円

【投資キャッシュフロー】

有形固定資産の取得による支出の減少：431百万円

貸付による支出の増加：1,242百万円（ホリーベトナム、合
同会社）

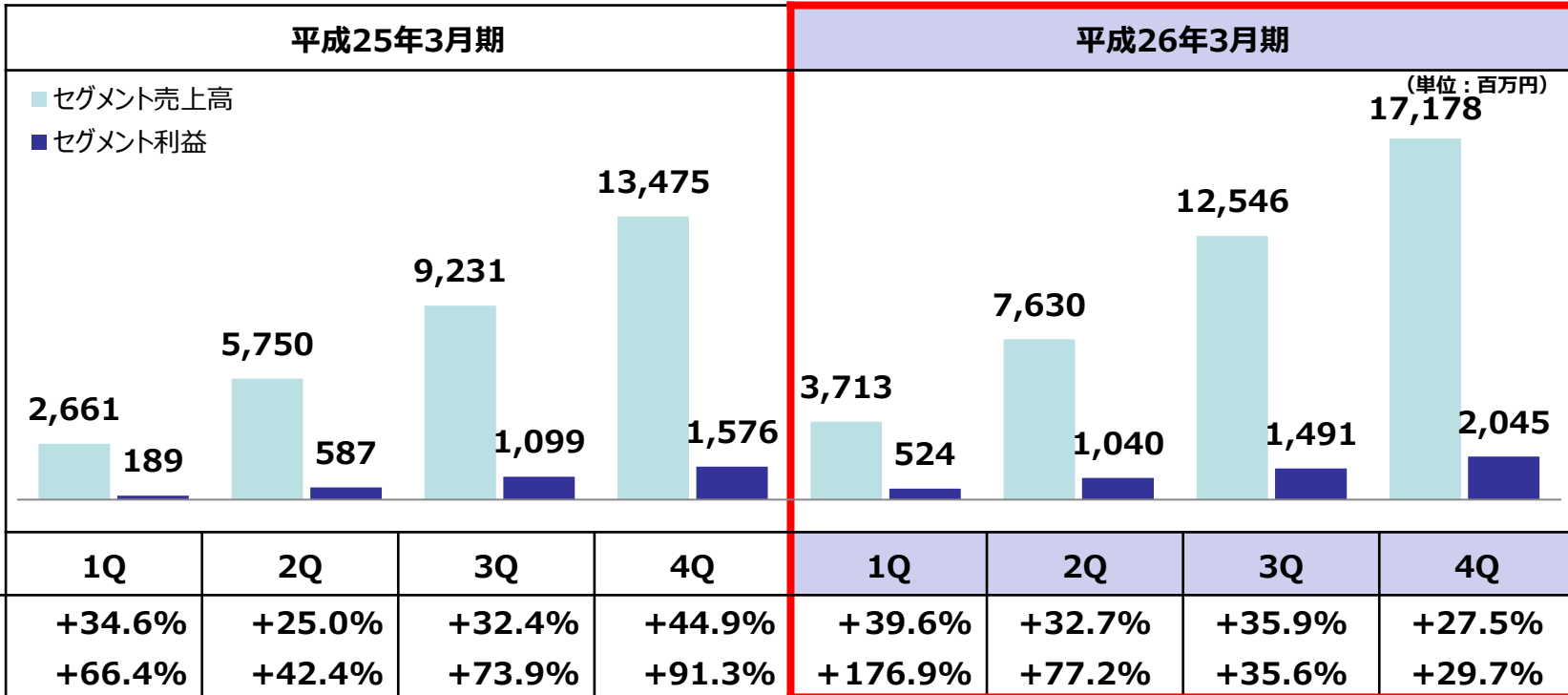
【財務キャッシュフロー】

長期借入金の返済による支出の増加：768百万円

社債の償還による支出の増加：15百万円

自己株式の処分による収入：630百万円

セグメント別売上高 / 販売関連事業（累計期間）



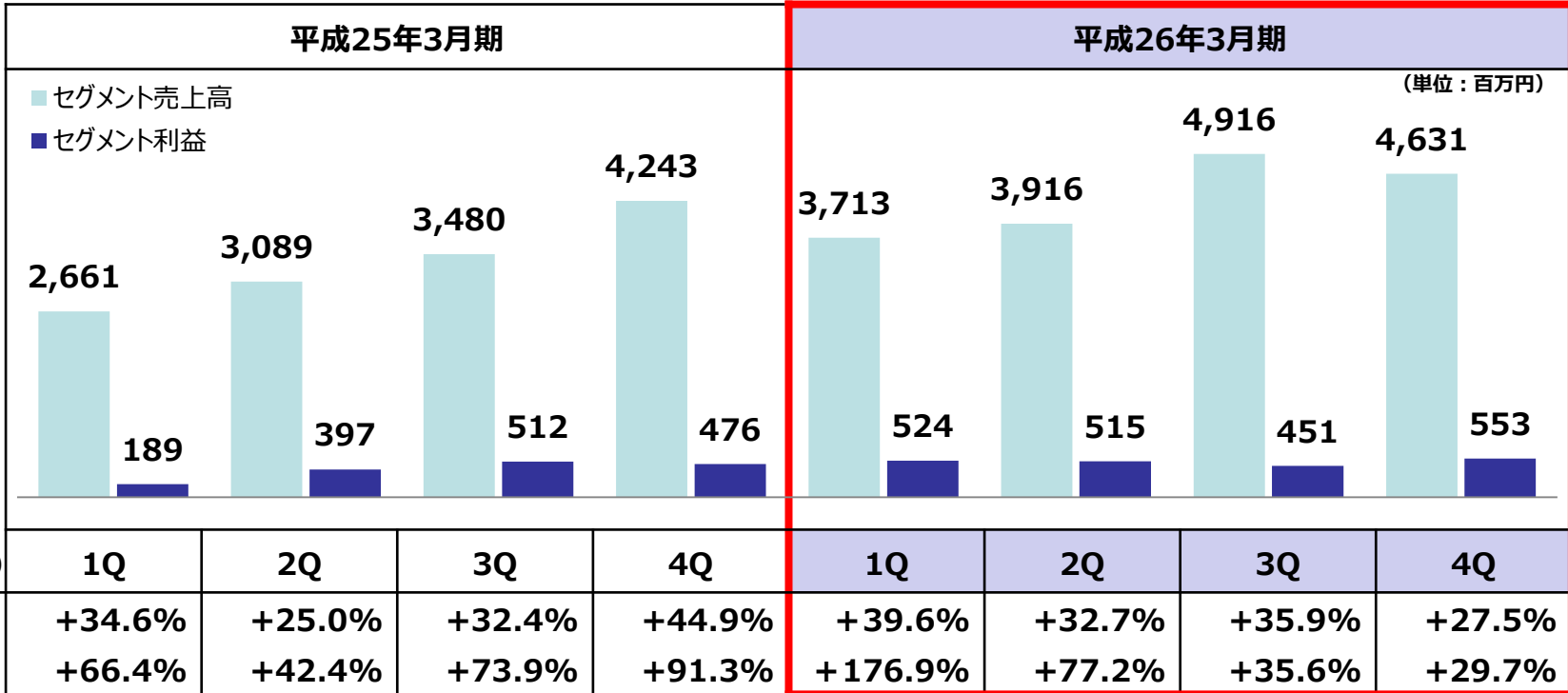
要因

社会インフラ等の維持補修工事と復旧・復興工事による需要の高まりを背景に、足場部材であるクランプ及びクサビ式住宅用足場の販売が、前期に引き続き好調に推移

太陽光発電システムの需要は高く、太陽光パネル架台の販売が順調に推移。全国各地でメガソーラー発電所の建設が進められ、グループ内の連携を強化したサービスを提供、結果、売上高は好調に推移

消費税増税前の駆け込み需要による住宅着工は一巡したものの、消費者の制震に対するニーズは依然高く、住宅用制震装置の販売売上は堅調に推移

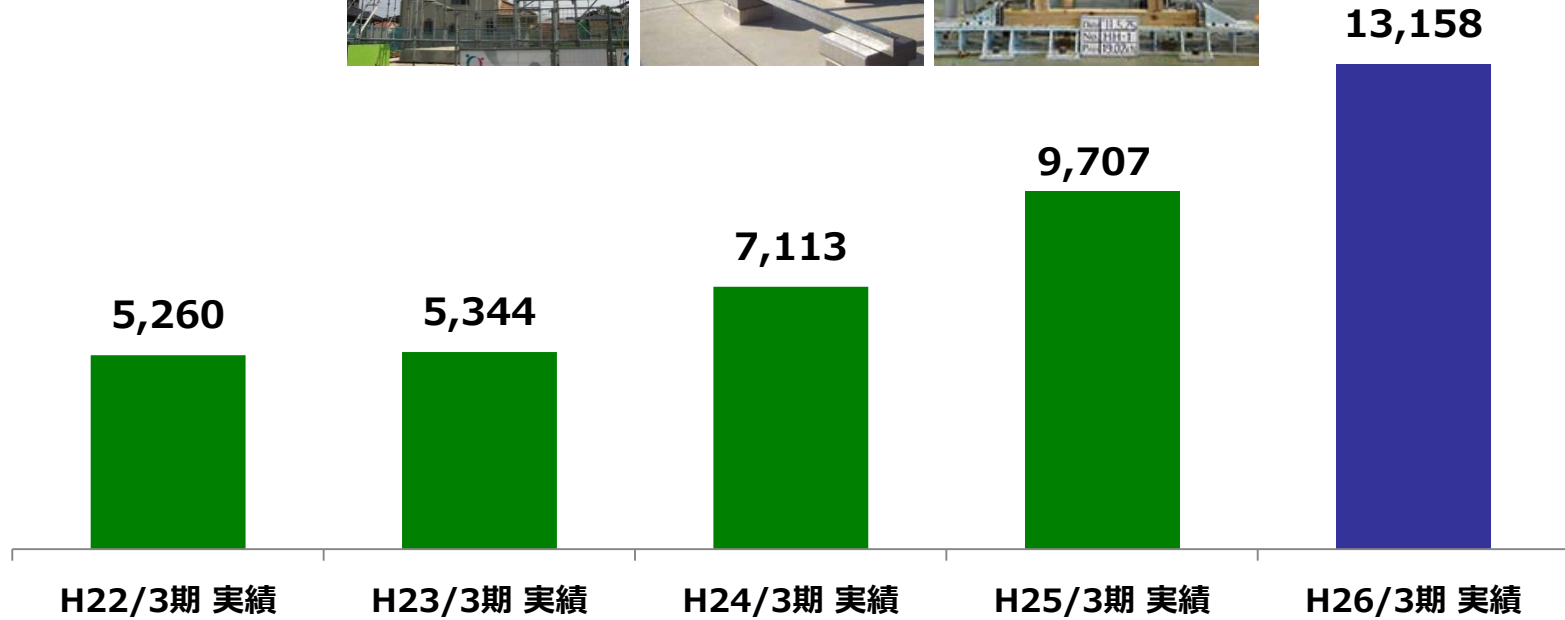
セグメント別売上高 / 販売関連事業 (会計期間)



ホリー株式会社 通期売上高推移



(単位：百万円)

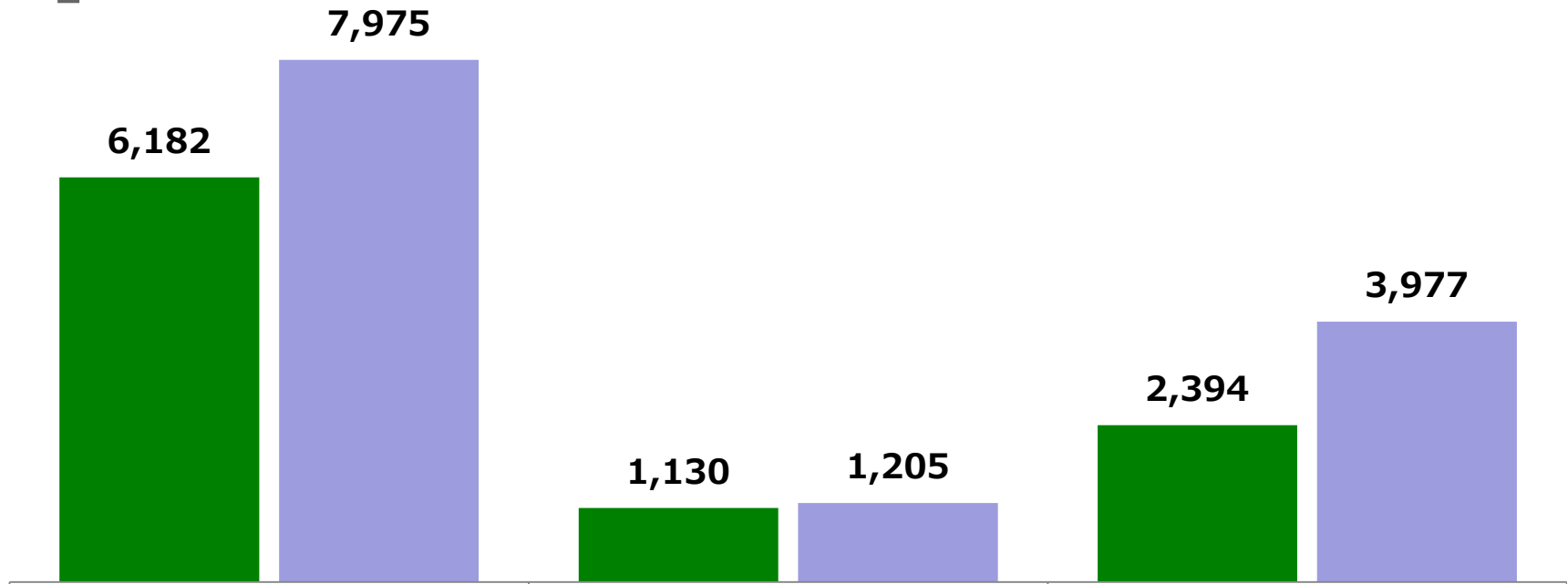


参考資料：ホリー株式会社 分野別売上高推移



■ H25/3期通期累計 ■ H26/3期通期累計

単位：百万円



建設セグメント



環境セグメント①



環境セグメント②



建設セグメント

hory

(累計) ■ H25/3期 通期
■ H26/3期 通期

6,182

7,975

建設セグメント

緊結金具



パイプなどを緊結する為の金具で汎用性が高く、あらゆる工事現場で使用されることの多い機材。

安全機材



建設現場における作業従事者の墜落防止や周辺への落下物防止のための安全機材。

くさび式住宅用足場



運搬、保管が容易なため多くの業者が保有する「一側足場」と呼ばれる機材。

緊結金具類については、建設投資の拡大による需要が順調に推移しました。27年3月期についても、東京オリンピック等引き続き旺盛な需要に支えられ、堅調に推移

安全機材につきましては、「YTロック」ならびに「Iqシステム」が販売開始された事により、来期以降の主力商品となり、売上拡大に大幅に寄与すると予想

くさび式住宅足場につきましては、消費増税前の駆け込み需要の一服感により、減少しましたが、粗利益率は若干改善

環境セグメント①

hory

(累計) ■ H25/3期 通期
■ H26/3期 通期

1,130
1,205

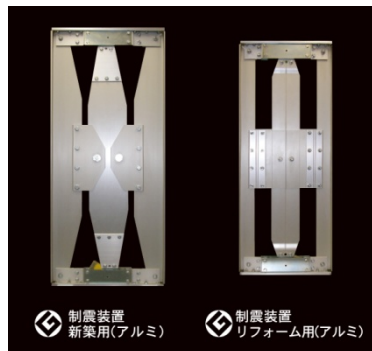
環境①セグメント

住宅用構造金物



住宅用のバルコニー部材、木造住宅用各種金物などに各種建材を製造販売。

住宅用制振装置



震災以降、住宅の耐震化率がたかまっています。耐震金物の他、ハウスメーカー向けの制振装置も製造。

WUTEC-SF



ホリー社オリジナルの木造住宅用耐震・制震壁。国土交通大臣認定「壁倍率」を取得。新築、リフォームとも使用可能。

大手ハウスメーカー向けのバルコニー部材および金物類につきましては、消費増税に伴う一服感による下期以降の着工棟数減少により伸び悩む

大手ハウスメーカーと共同開発した住宅用制振装置は、消費者ニーズの高まりから、住宅への搭載率が上昇し、増収。また、独自開発した木造在来工法用制振装置「WUTEC-SF」も着実に増加

環境セグメント②

hory

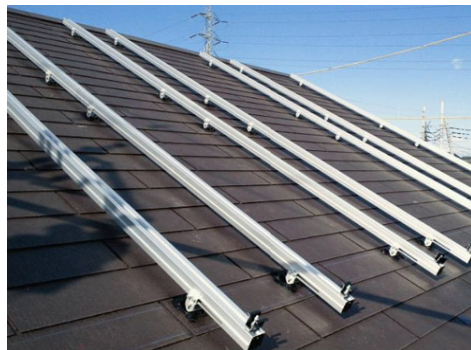
(累計) ■ H25/3期 通期
■ H26/3期 通期

2,394

3,977

環境②セグメント

住宅用架台



屋根金具専門メーカーとのタイアップで、パネルメーカー各社のサイズに対応できる為、高い評価を頂いております。

メガソーラー、産業用架台



仮設機材製造・設計技術を用いたユーザーニーズに応じた素早い対応力と新製品の開発で受注拡大による大幅な売上増加。

太陽光発電システム



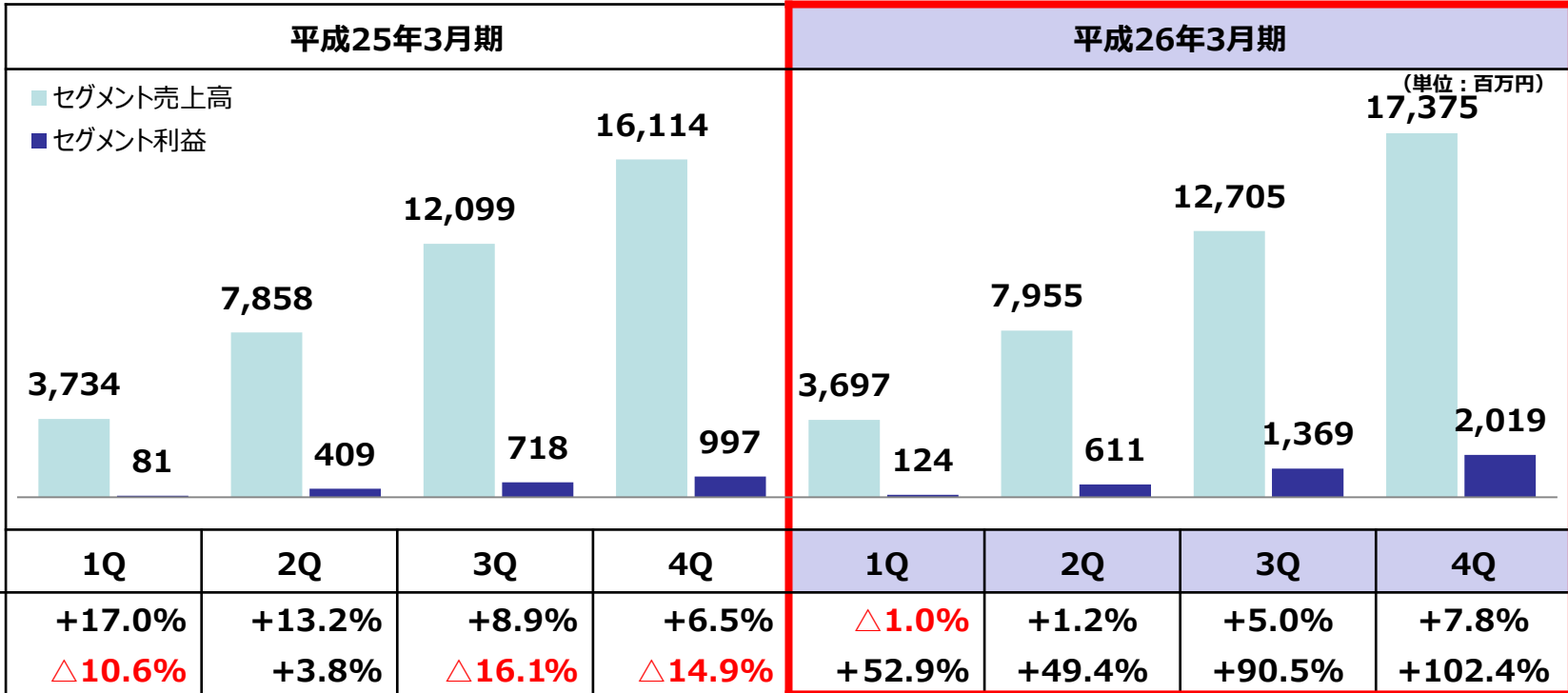
SRGタカミヤグループの仮設機材、工事、設計、運搬のネットワークを生かしたワンストップサービスを提供。

住宅用太陽光発電パネル架台につきましては、パネルメーカー各社の高い評価と底堅い需要に支えられ、着実に売上が伸長

産業用太陽光発電パネル架台につきましては、メガソーラー級の発電事業者の旺盛な需要に支えられ、前期比50%以上の増収

設計から工事までグループによるワンストップサービスに今後ますます貢献

セグメント別売上高 / レンタル関連事業（累計期間）



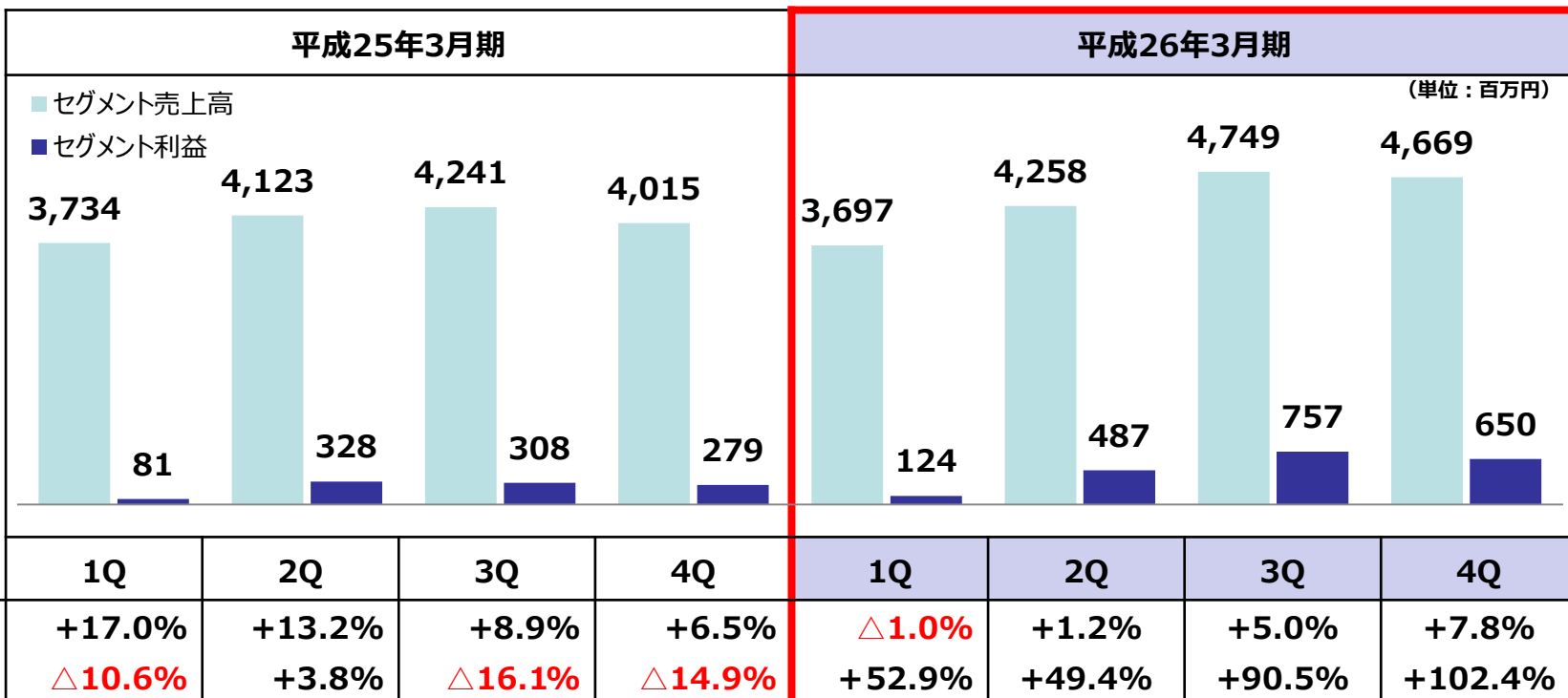
要因

土木・橋梁用の仮設機材の出荷に立ち遅れがあったものの、耐震補強工事、首都圏を中心とした再開発工事、復旧・復興工事などによる需要の高まりを背景に、建築用の仮設機材は、本格的に出荷基調

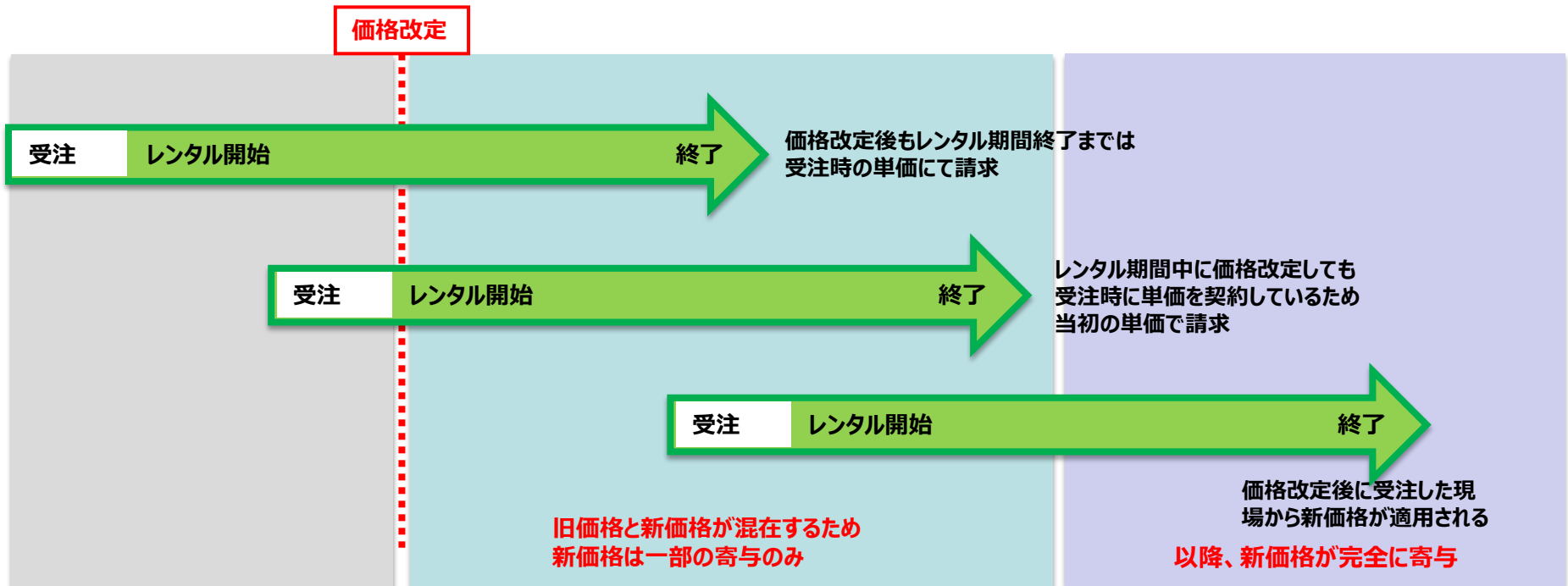
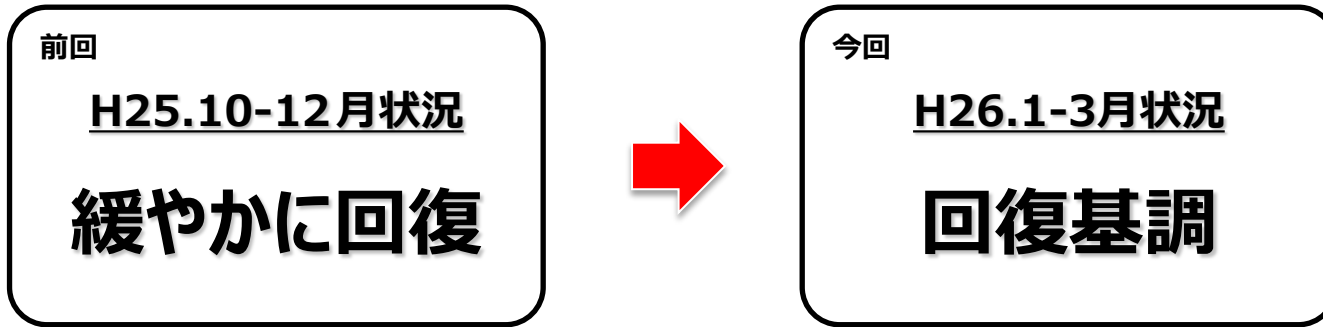
レンタル価格により一層の改善の兆しも見え始め、建設関連の売上高は順調に推移

維持補修工事分野において、かねてより取り揃えてまいりました移動昇降式足場（リフトクライマー）の出荷が、超高層マンションの大規模修繕工事・煙突解体工事を中心に堅調に推移

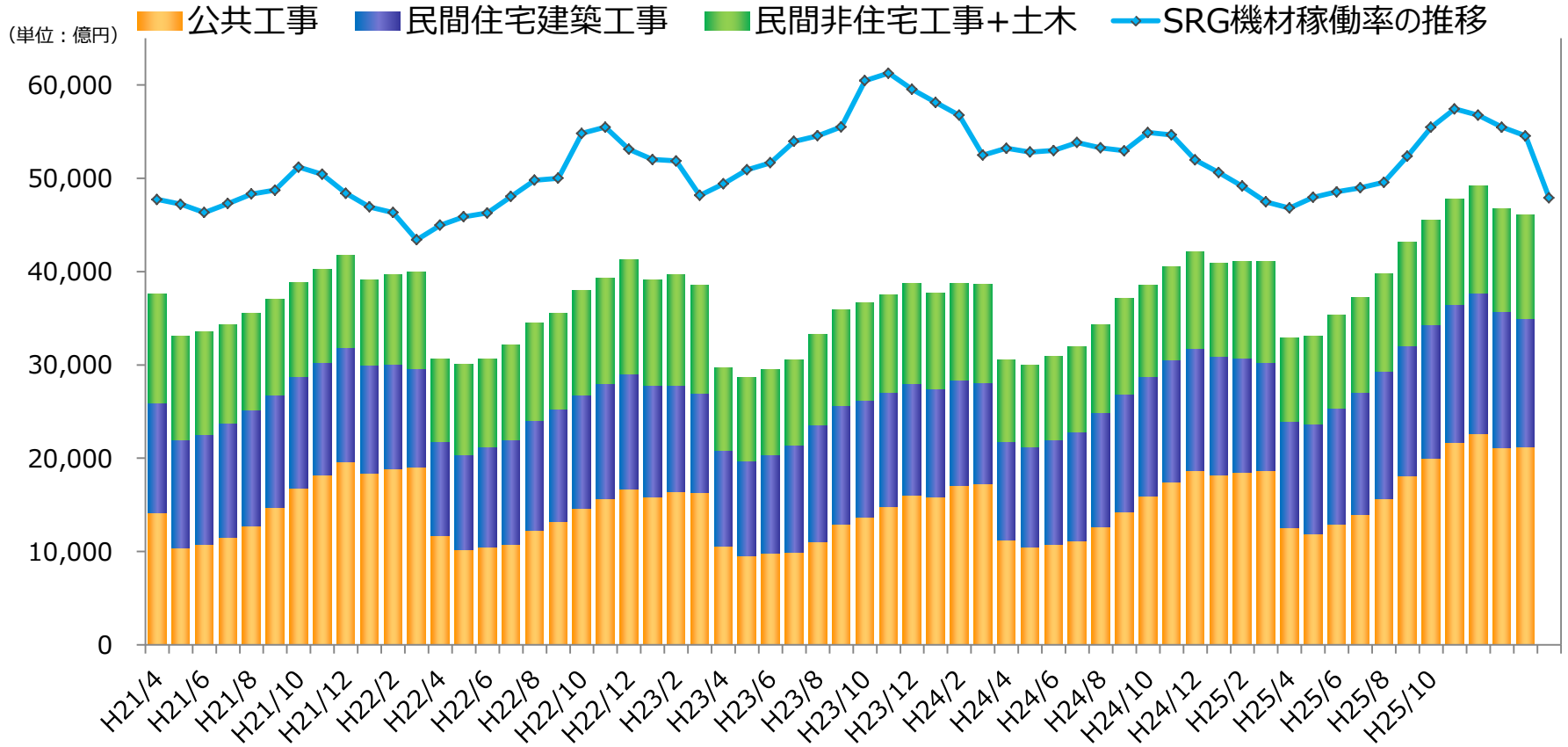
セグメント別売上高 / レンタル関連事業 (会計期間)



レンタル事業価格動向



国内建設工事出来高と当社機材稼働率の推移



未消化工事	公共工事	民間住宅建築工事	民間非住宅工事+土木
平成26年02月時点	123,573	42,615	63,493
平成25年11月時点	141,907	45,828	66,812

「国内建設工事出来高」、「未消化工事」：国土交通省 建設総合統計より

レンタル事業 受注済み現場と今後の見通し

【受注済み現場】

汚水処理施設（宮城県・災害復旧）

JR仙石線移設／JR常磐線／北海道新幹線

福島市除染事業（Iqシステム）

東京外かく環状道路／首都圏中央連絡道路／首都高補修工事

新名神高速道路、東九州自動車道

新幹線大規模修繕工事（関西）

【引き合い中の大型現場】

宅地造成工事（東北）

集合住宅改修工事（関東・関西）

中部横断自動車道／首都圏中央連絡道路／東京外かく環状道路

首都高補修工事／橋梁補修工事（全国）

水処理場（関東）

新名神高速道路



支保工（型枠支保工）

コンクリート打設の際に型枠を支えるための仮設構造物
高架橋では、橋桁部分のコンクリートを打設する際に利用します。

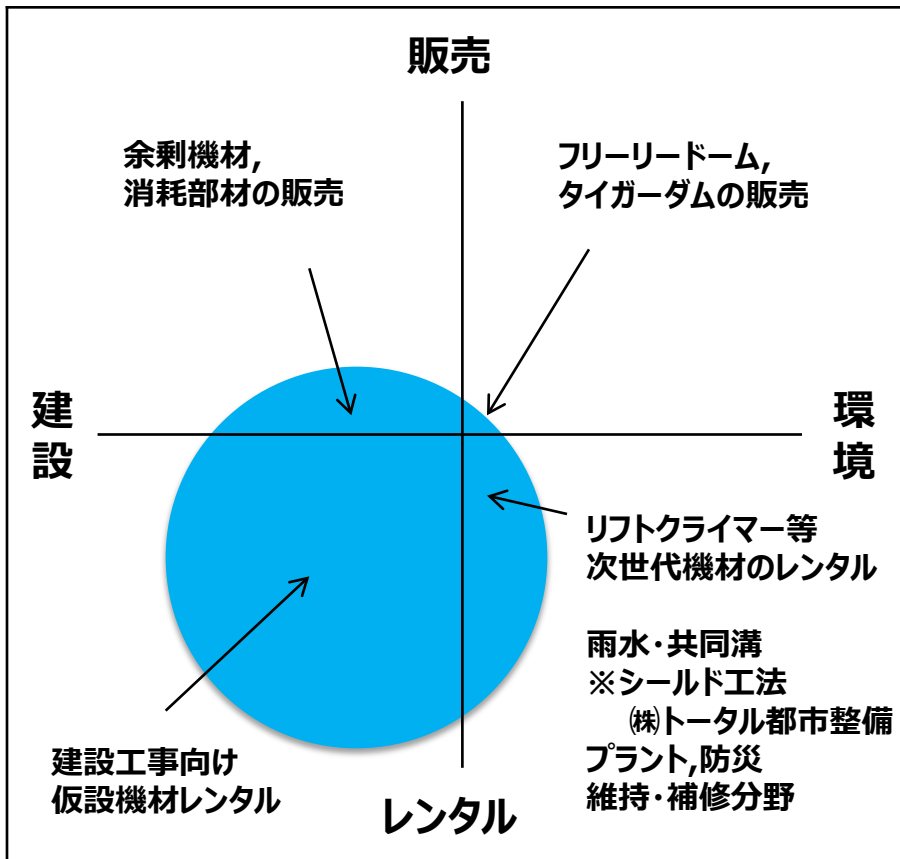


吊足場

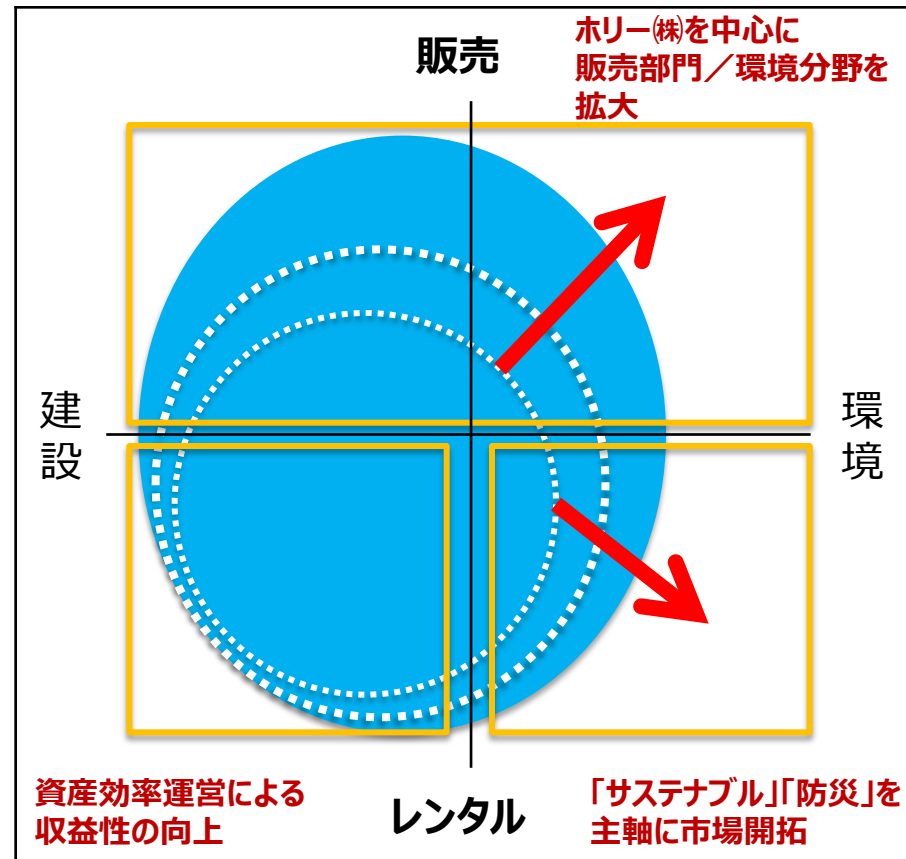
橋桁に吊下げ点検や修繕工事に利用する足場

SRGタカミヤグループ経営戦略イメージ

従来のSRGタカミヤグループ



SRGタカミヤグループ経営戦略



成長分野を明確にするためにセグメント別で戦略立案

SRGタカミヤグループの経営戦略

販売関連事業

- ・ 生産体制を強化し引き続き旺盛な仮設関連需要に対応。新たな海外生産拠点を準備
- ・ 住宅用制震装置の製造販売を販売事業の柱にすべく注力
- ・ 太陽光発電関連需要への対応は外注を活用し対応、ピークアウトに備える
- ・ 供給体制の整備（国内工場の強化、海外生産拠点の新設）

レンタル関連事業

- ・ 維持補修・耐震・防災関連への拡販。戦略商品、専門工事会社を強化し対応
- ・ 技術提案型営業を推進。工期短縮、コスト縮減、施工効率向上を訴求し優位性を高める
- ・ 資産効率、管理コスト縮減を追求し利益体質への転換を図る

新規取組み

- ・ グループ総力を挙げたIqシステムの拡販
- ・ 周辺事業領域への進出
- ・ 海外事業展開

今期の成果

- **レンタル収益の改善**

需要に対応するための供給責任を果たすべく、効率化による生産性向上に努めるとともに価格改善に取り組む。また、足場材工提案（機材と工事）、技術提案により受注も拡大

- **太陽光発電関連需要をグループで受注**

資材（太陽光パネル架台）と設計、施工（工事・仮設材）をグループ会社で一括受注するトータル提案で、太陽光発電所案件の受注も拡大

- **機材需要拡大への対応と海外展開のためベトナムに工場を建設**

- **次世代足場「Iqシステム」をリリース, グループで拡販開始**

- **型枠レンタル「アサヒ工業(株)」を買収, 事業領域を拡大**

海洋土木・港湾分野へのグループ事業領域の拡大とともに、グループシナジーにより、営業エリアの拡大、新たな価値創造、顧客サービスの充実を図る

- **自社株式処分（公募売出し）による機材調達, 財務体質の改善**

今後の見通し

業界環境

- **社会インフラの再整備が全国的に波及**

橋梁やトンネル、公共施設にいたる社会インフラの維持補修・耐震・防災への対応需要が継続
リニア新幹線、火力発電所、ごみ処理施設、貯水施設、LNGパイプラインの整備

- **震災復興工事も本格化**

交通インフラ・施設の復旧により本格的に復興関連の需要が継続

- **東京オリンピック開催決定による投資の活性化**

首都圏の再開発、インフラ整備、スタジアム改修など首都圏を中心に官民投資意欲は継続

- **労働者不足と資材不足による工事進捗遅れ**

- **ASEAN諸国におけるインフラ整備の活性化**

平成27年3月期 連結業績予想（累計期間）

（単位：百万円）

	第2四半期		通期		通期予想 対前年増減率
		売上高比率		売上高比率	
売上高	16,640	—	36,030	—	+11.1%
営業利益	1,460	8.8%	3,840	10.7%	+25.8%
経常利益	1,410	8.5%	3,700	10.3%	+23.1%
当期純利益	804	4.8%	2,227	6.2%	+25.9%
1株当たり当期純利益	36.04円		99.82円		—
1株当たり配当金	7.00円		13.00円		—

※当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。

配当の状況

株式分割 (1→2) H25/4



	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期 予想
配当金	20円	20円	20円	13円	20円
内訳) 1Q	-	-	-	-	-
2Q	-	-	-	5円	7円
3Q	-	-	-	-	-
4Q	20円	20円	20円	8円	13円
配当金額総額	216百万円	214百万円	214百万円	290百万円	-
配当性向	71.7%	28.6%	26.6%	16.2%	-

※平成25年3月31日を基準日とした1対2分割を実施しております。

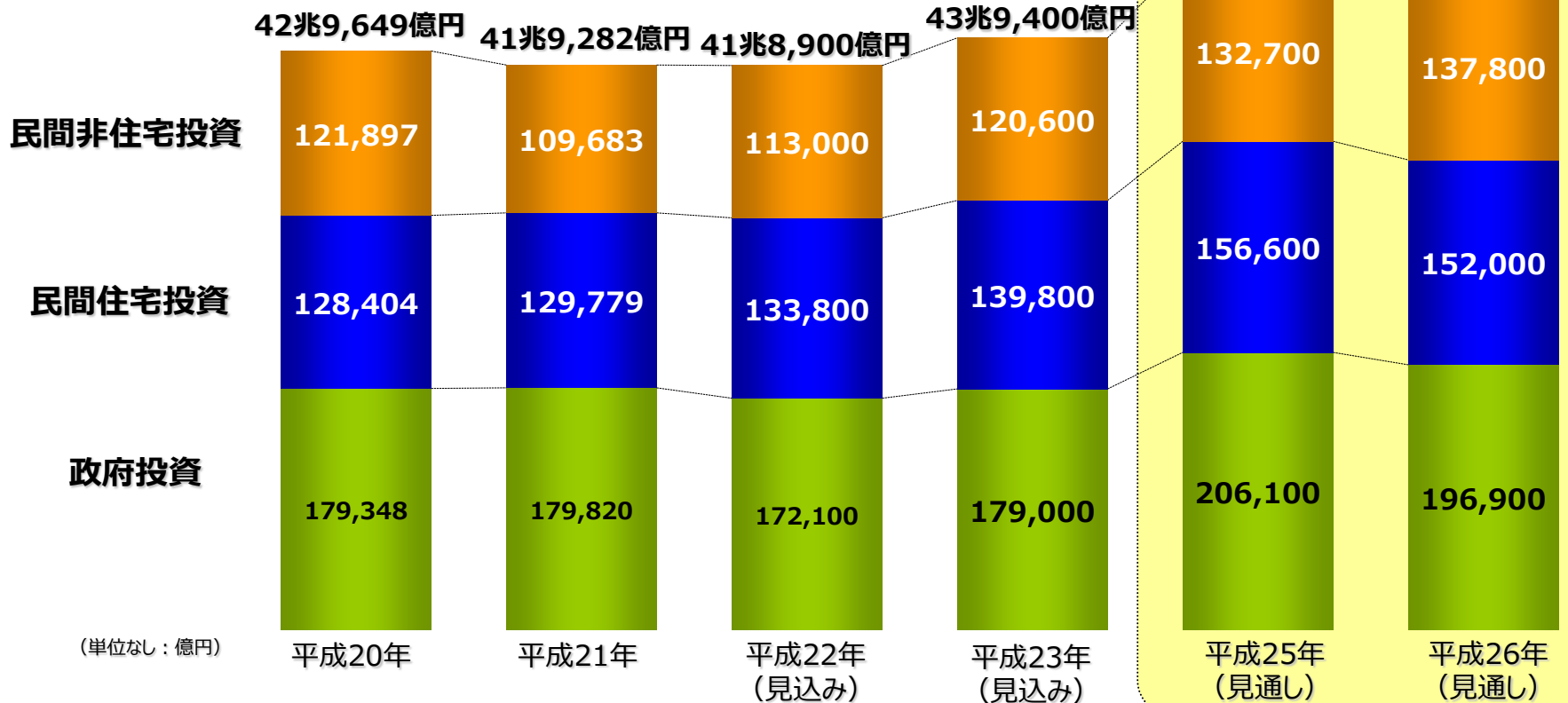
ご清聴ありがとうございました。

国内建設投資額推移

建設経済研究所 平成26年04月発表資料

来年度は減少の見通しではあるものの49兆円に迫り高水準を維持

平成25年度は **12.7%増加**
平成26年度は **1.8%減少**
の見通し
49兆5,400億円 48兆6,700億円





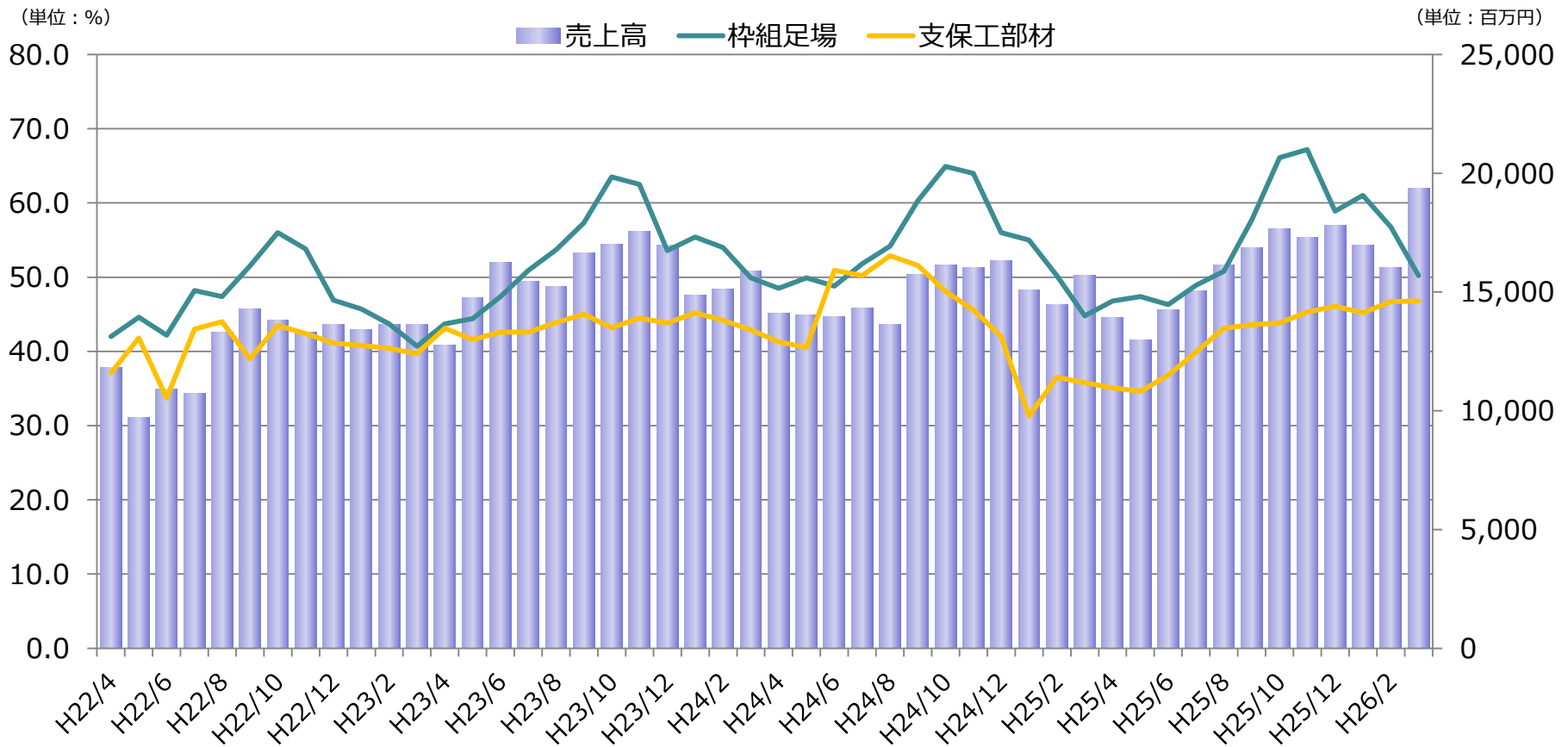
支保工部材



枠組足場

参考掲載)

軽仮設リース業50社の機材稼働率と売上高の推移

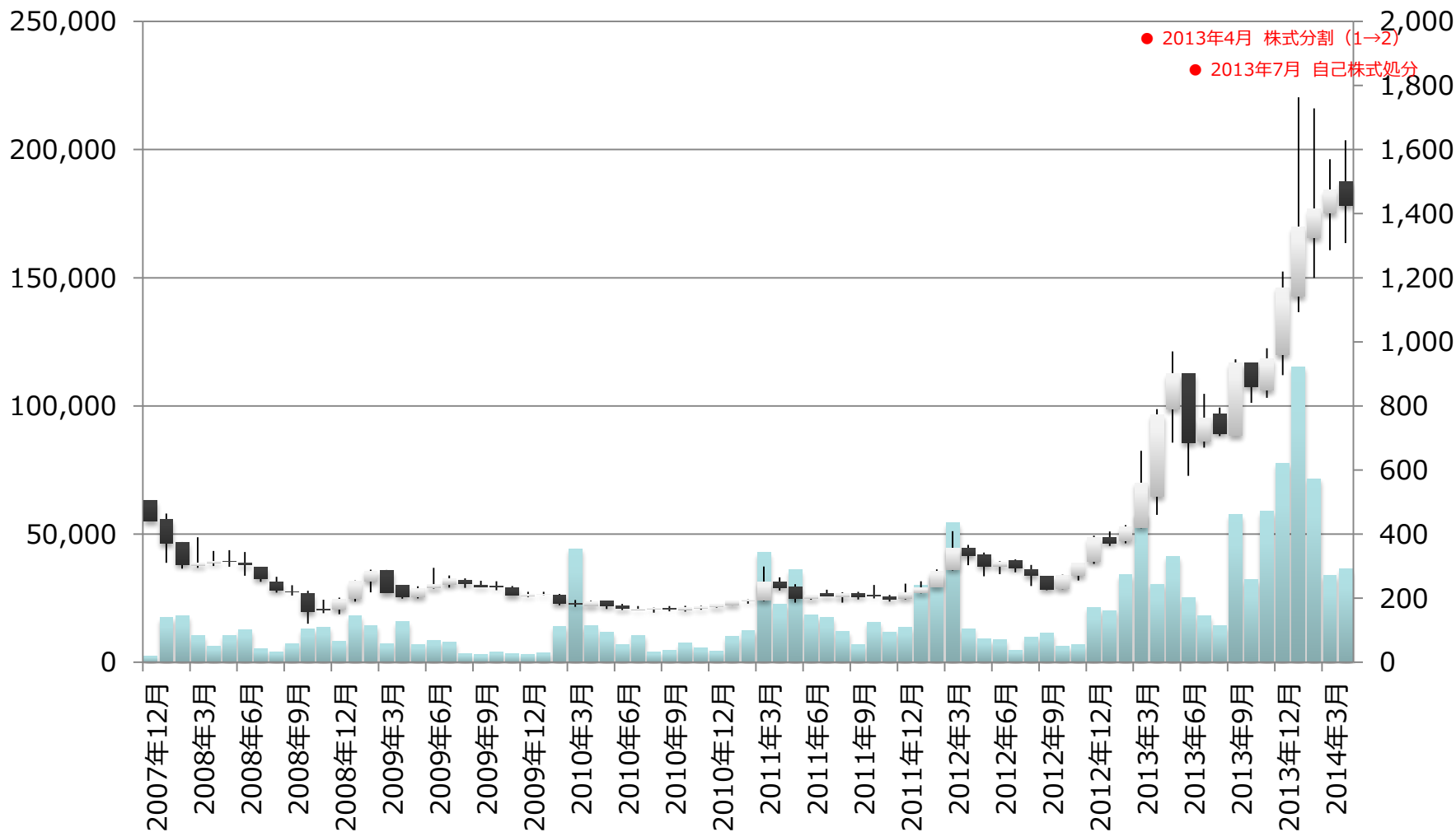


出所：国土交通省「建設機械器具リース業等の動態調査時系列」を加工

2445.T SRGタカミヤ 株価推移

一日平均出来高

株価



エスアールジータカミヤ株式会社 会社概要

商号	エスアールジータカミヤ株式会社
設立	昭和44（1969）年6月21日
代表者	代表取締役社長 高宮一雅
資本金	6億7,975万円
従業員数	連結：798名 単体：358名 (平成26年3月末時点)
登記本社	大阪府大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー
営業拠点	【支店】東北仙台、東京、名古屋、大阪、九州福岡（計5） 【営業所】盛岡、福島、鹿島、市原、北陸、京滋、四国、広島（計8） 【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、宮城仙台第二、福島須賀川、新潟横越、茨城水戸、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川愛川、静岡吉田、石川金沢、東海木曾岬、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、和歌山桃山、兵庫東条（計22）
連結子会社	ホリー(株)、ホリーコリア(株)、(株)キャディアン、(株)イワタ、(株)タツミ、(株)新建ナガキタ、(株)ヒラマツ、(株)SNビルテック、(株)青森アトム、(株)トータル都市整備、(株)MGI（計11）
株式上場	平成17年05月 JASDAQ証券取引所（注）平成20年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました 平成19年12月 東京証券取引所市場第二部



連結業績の推移

(単位：百万円)	H21/3期	H22/3期	H23/3期	H24/3期	H25/3期	H26/3期
売上高	15,338	14,530	17,490	23,201	28,113	32,443
営業利益 ①	1,797	678	722	1,037	1,605	3,051
当期純利益	513	337	302	755	807	1,768
総資産	24,958	25,283	29,594	32,472	33,987	37,245
純資産 (自己資本)	5,543	5,679	5,738	6,380	7,110	9,758
減価償却費(CF) ②	2,487	2,602	2,745	3,088	3,280	3,369
EBITDA (①+②)	4,284	3,280	3,468	4,126	4,886	6,421
	H21/3期	H22/3期	H23/3期	H24/3期	H25/3期	H26/3期
ROE (株主資本利益率)	9.5%	6.1%	5.4%	12.7%	12.2%	21.5%
売上高純利益率③	3.3%	2.3%	1.7%	3.3%	2.9%	5.5%
総資産回転率④	0.61	0.57	0.59	0.71	0.83	0.87
ROA (③ × ④) (総資産利益率)	2.1%	1.3%	1.0%	2.3%	2.4%	4.7%
財務レバレッジ	4.50	4.45	5.16	5.09	4.78	3.82

IRコンタクト

エスアールジータカミヤ株式会社 経営企画室 広報・IR課：川畑

電話番号： 06-6375-3918

ファクシミリ： 06-6375-8827

当社IRサイト <http://www.srg.jp/ir/index.php>



HP： <http://www.srg.jp/>

E-mail： ir@srg.jp

住所： 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー21階

本資料は、平成26(2014)年3月期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き平成26(2014)年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。